



2020年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月5日

上場会社名 日本社宅サービス株式会社

上場取引所 東

コード番号 8945 URL <https://www.syataku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理財務グループ長 (氏名) 吉田 勇

TEL 03-5229-8700

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第1四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	2,083	10.4	213	14.8	215	14.6	133	14.1
2019年6月期第1四半期	1,886	4.0	185	30.6	187	10.9	117	8.3

(注)包括利益 2020年6月期第1四半期 280百万円 (△34.0%) 2019年6月期第1四半期 425百万円 (290.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	13.93	13.23
2019年6月期第1四半期	12.43	11.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第1四半期	9,559	6,753	69.4
2019年6月期	9,534	6,582	67.8

(参考)自己資本 2020年6月期第1四半期 6,634百万円 2019年6月期 6,463百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	9.00	—	13.00	22.00
2020年6月期	—	—	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	9,480	12.3	1,055	10.5	1,101	9.8	715	3.7

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期1Q	10,769,900 株	2019年6月期	10,736,700 株
② 期末自己株式数	2020年6月期1Q	1,146,588 株	2019年6月期	1,146,531 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期1Q	9,609,331 株	2019年6月期1Q	9,442,008 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢・所得環境の改善が継続し、個人消費の持ち直し等を受け、景気は緩やかな回復基調が続きました。一方、海外経済においては、米中の通商問題や欧州における不安定な政治情勢の影響もあり、先行きが不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く環境においては、社宅管理事務代行業は、福利厚生制度の充実を重要視する傾向は変わらず、加えて働き方改革等による残業抑制や生産性向上取り組み等と相まって、更なる外部委託ニーズにつながっており、アウトソーシングへの関心は高い状態を維持しております。一方、施設総合管理事業は、マンション管理における修繕積立金不足の問題から管理組合による管理費見直しに伴う受注競争は依然として厳しく、人件費や輸送コストの上昇による建築コストの高騰、技能労働者の需給状況等についても引き続き注視すべき状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、5ヵ年中期経営計画の最終年度を遂行中であり、引き続き、ストックビジネスをベースにした継続的かつ安定的な成長、お客様にとって価値がさらに拡がるような付加価値の高いサービスの創造、機能分化による意思決定と人材育成の早期化の3つの基本戦略を通じて、中長期的な企業価値の向上に注力しております。

その結果、売上高は20億83百万円（前年同期比10.4%増）、営業利益は2億13百万円（同14.8%増）、経常利益は2億15百万円（同14.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1億33百万円（同14.1%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、次のとおりであります。

①社宅管理事務代行業

社宅管理事務代行業においては、既存顧客のストック件数の増加や新規受託案件が計画どおり稼動し、受託収入が順調に増加したことから、売上高は9億23百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益は1億71百万円（同1.3%増）となりました。

②施設総合管理事業

施設総合管理事業においては、ストックである施設管理の棟数及び戸数等が順調に増加したことに加え、修繕工事において消費税増税前に一部完工が前倒しで発生したことから、売上高は10億40百万円（前年同期比14.8%増）、営業利益は33百万円（前年同期0百万円の営業損失）となりました。

③その他事業

コスト削減サービスや24時間対応のコールセンターサービスなどが順調に増加した一方で、新たに開始した保険サービスについて費用発生が先行したことから、売上高は1億19百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は7百万円（同54.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ25百万円増加し95億59百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億66百万円減少し、52億7百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少8億25百万円、営業立替金の増加4億97百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億91百万円増加し、43億52百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加2億11百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億45百万円減少し、28億6百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億89百万円減少し、18億15百万円となりました。これは主に営業預り金の減少1億83百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ43百万円増加し、9億90百万円となりました。これは主にその他に含まれる長期繰延税金負債の増加45百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億70百万円増加し、67億53百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加1億46百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結会計年度の業績予想につきましては、2019年8月9日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,216,782	2,391,010
売掛金	338,153	370,299
営業立替金	1,387,151	1,884,878
商品	1,131	992
販売用不動産	216,269	244,345
仕掛品	12,823	11,967
貯蔵品	10,627	12,041
その他	294,695	296,176
貸倒引当金	△3,154	△3,970
流動資産合計	5,474,478	5,207,741
固定資産		
有形固定資産	649,880	673,385
無形固定資産		
のれん	272,228	266,931
その他	124,683	186,284
無形固定資産合計	396,911	453,215
投資その他の資産		
投資有価証券	2,756,801	2,968,064
その他	256,663	257,509
投資その他の資産合計	3,013,464	3,225,574
固定資産合計	4,060,256	4,352,176
資産合計	9,534,735	9,559,917
負債の部		
流動負債		
買掛金	169,393	177,577
未払法人税等	154,495	106,975
営業預り金	665,536	481,661
賞与引当金	34,707	121,020
役員賞与引当金	34,594	10,742
その他	946,235	917,862
流動負債合計	2,004,963	1,815,840
固定負債		
退職給付に係る負債	168,516	167,667
その他	778,520	823,197
固定負債合計	947,036	990,864
負債合計	2,951,999	2,806,705
純資産の部		
株主資本		
資本金	783,098	793,158
資本剰余金	974,248	984,308
利益剰余金	3,399,828	3,404,500
自己株式	△459,523	△459,582
株主資本合計	4,697,651	4,722,384
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,765,912	1,912,487
その他の包括利益累計額合計	1,765,912	1,912,487
新株予約権	119,172	118,340
純資産合計	6,582,736	6,753,212
負債純資産合計	9,534,735	9,559,917

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
売上高	1,886,509	2,083,401
売上原価	1,447,910	1,596,067
売上総利益	438,598	487,334
販売費及び一般管理費	252,814	274,074
営業利益	185,784	213,259
営業外収益		
受取利息及び配当金	22	21
受取手数料	—	769
補助金収入	3,100	533
その他	977	1,064
営業外収益合計	4,100	2,388
営業外費用		
訴訟損失引当金繰入額	1,886	—
その他	40	275
営業外費用合計	1,926	275
経常利益	187,957	215,372
特別利益		
固定資産売却益	37	—
新株予約権戻入益	50	109
特別利益合計	87	109
特別損失		
固定資産除却損	—	736
特別損失合計	—	736
税金等調整前四半期純利益	188,044	214,744
法人税等	70,631	80,820
四半期純利益	117,413	133,924
親会社株主に帰属する四半期純利益	117,413	133,924

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	117,413	133,924
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	307,835	146,574
その他の包括利益合計	307,835	146,574
四半期包括利益	425,248	280,499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	425,248	280,499
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、サンネクスタリーシング株式会社は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新設分割による持株会社への移行)

当社は、2019年9月27日開催の定時株主総会において、2020年7月1日（予定）を効力発生日とする新設分割（以下、「本新設分割」という。）により持株会社体制へ移行することを決議いたしました。また、当社は、本新設分割をもって「サンネクスタグループ株式会社」へ商号変更を行う予定とし、新たに設立する新設分割会社の商号を「日本社宅サービス株式会社」とする予定であります。

(1) 会社分割の目的

当社グループは、「ビジョナリーカンパニー創造」を経営ビジョンとして掲げ、「NEXT DREAM NEXT STANDARD」一世の中に新たな価値を創造し社会に貢献する。」という考えのもと、事業を推進してまいりました。このような中で、当社グループが、今後さらに持続的な成長を実現していくためには、持株会社に移行し、グループ全体の経営資源の最適配分、経営スピードの加速化、並びに経営人材育成の早期化に取り組み、将来の中核事業となるような新たなビジネスの創出と育成を図るとともに、グループ経営管理及び業務執行の分離によるコーポレートガバナンスのさらなる向上を図ることが必要と考え、2020年7月1日（予定）に持株会社体制へ移行することといたしました。なお、今回の「本新設分割」により社宅管理事務代行業は、新設分割設立会社が担い、新たな事業会社としてスタートし、事業戦略への専念、業務執行・ビジネスへの関与・時間的比重を拡大し、さらに発展すべく、当社の完全子会社にすることといたしました。

(2) 会社分割の概要

①会社分割の日程

新設分割計画書の承認株主総会の基準日	2019年6月30日
新設分割計画書の承認取締役会	2019年8月16日
新設分割計画書の承認株主総会	2019年9月27日
新設分割の効力発生日	2020年7月1日（予定）

②会社分割の方式

当社を分割会社とし、社宅管理事務代行業を担う「日本社宅サービス株式会社」を事業の承継会社とする新設分割を実施いたします。なお、当社は、2020年7月1日（予定）をもって「サンネクスタグループ株式会社」へ商号を変更する予定であります。

(3) 会社分割に係る割当ての内容

本新設分割に際して新設分割会社「日本社宅サービス株式会社」が発行する普通株式90,000株すべてを分割会社である当社に割当てする予定であります。

(4) 割当株式数の算定根拠

本新設分割は、当社が単独で行うものであり、本新設分割に際して発行する株式のすべてが当社に割当交付されることから、新設分割会社に承継予定とする事業の債権、債務から資本金の額等を考慮し、当社に交付する株式数を算定しております。

(5) 分割する事業の名称

社宅管理事務代行業

なお、分割する事業の社宅管理事務代行業は、報告セグメント（社宅管理事務代行業・その他事業）であり、同事業セグメントの最近事業年度（2019年6月期）の売上高は次のとおりであります。

セグメント区分	売上高
社宅管理事務代行業	3,787百万円
その他事業	459百万円
合計	4,247百万円

(6) 当社の新株予約権の取扱い

当社の発行する新株予約権については、本新設分割による取り扱いの変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2018年7月1日 至 2018年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	社宅管理 事務代 行業	施設総合 管理事業	その他 事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	868,941	906,216	111,351	1,886,509	—	1,886,509
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	3,132	18,186	21,319	(21,319)	—
計	868,941	909,349	129,537	1,907,828	(21,319)	1,886,509
セグメント利益又は損失 (△)	169,111	△403	16,816	185,524	259	185,784

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の「調整額」は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)2
	社宅管理 事務代 行 事業	施設総合 管理事 業	その他 事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	923,354	1,040,095	119,950	2,083,401		2,083,401
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	2,752	18,054	20,806	(20,806)	—
計	923,354	1,042,847	138,005	2,104,208	(20,806)	2,083,401
セグメント利益	171,268	33,817	7,674	212,760	499	213,259

(注) 1. セグメント利益の「調整額」は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、サンネクスターリング株式会社を連結範囲に含めたことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、従来、報告セグメントに含まれない「その他」の各事業セグメントについて、「その他事業」への集約を行うとともに、金額的重要性を勘案して報告セグメントに追加いたしました。この結果、当社グループの報告セグメントは、「社宅管理事務代行業」及び「施設総合管理事業」の2区分から、「社宅管理事務代行業」「施設総合管理事業」及び「その他事業」の3区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。